

とうきょう すくわくプログラム



『とうきょう すくわくプログラム』は、保育園、幼稚園の垣根を越え、すべての乳幼児の「伸びる・育つ(すくすく)」と「好奇心・探究心(わくわく)」を育むためのプログラムです。このプログラムでは子どもたちが主体的にそして仲間と協働しながら探究活動に取り組み、乳幼児期に養うことが大切とされている『自己肯定感』や『思いやり』などの『非認知能力の育成』をサポートしていくことをねらいとしています。





みどりの保育園では『自然』をテーマに探究活動に取り組んでいます。多摩市連光寺の豊かで恵まれた自然環境での活動、季節の野菜、草花の栽培、生き物の飼育、石砂土水、木の実などの自然物とレンガ、木材などの工夫しながら使える素材を保育者に見守られながら思いおもいに使える園庭環境を活かし、子どもの『やってみたい』『どうなるんだろう』『知りたい』などの思いを叶えられる環境を整えることを大切に考え日々保育を展開しています。そして活動を通して子どもたちの『心の育ち』『主体性』『人と関わる力』の育ちをサポートしています。



☆探究活動①『自然』 *季節の自然物（秋）*



秋の自然を園庭遊びや近隣の公園、さんぽの道中で見つけている子どもたち。各年齢ごとに見つけた自然物で探究活動をしています。



見つけた『秋の自然物』の名称を図鑑で調べる姿が見られました。またこの公園に生息している自然物や生き物を実際に公園の案内板で確認しながら『秋の自然物』を見つける姿も見られました。



目当ての自然物を実際に見つけた子どもたち。触れた時の感触や紅葉していく葉の様子も観察できました。紅葉した落ち葉を使ってその場で作れるアイテムも調べてきた子どもたちでした。



太陽に透かすと落ち葉の色が鮮やかに見えたり、「線が見える」「もようがある」と気付いた子どもたち。ライトテーブルを使って更に鮮明に観察をしました。

☆まとめ&振り返り

身近なところにある自然を子どもたちが発見し『探究活動』が始まった。地域の公園の環境を活用して子どもたちで調べ、実際にその場に行き、見つけた自然物に触れた。落ち葉に1枚ずつ違いがある事を発見したり、光に当てることで更に鮮明に見える事を知りライトテープルの活用も子どもたちで思いつき実践した。大人が助言をし過ぎず、子どもたちの考えや提案ができるだけ活かしながら活動することの大切さを学んだ。今後も『探究活動』を子どもたち自身で行いやすいように環境を整えていきたい。